

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	巨大グラフとビッグデータ解析の基礎基盤：理論研究と高速アルゴリズム開発
研究代表者	河原林 健一 (国立情報学研究所・情報学プリンシプル研究系・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、理論計算機科学分野の中核をなすアルゴリズム理論に関するものであり、既存手法では対応できなかった大規模グラフやビッグデータ分野における多くの問題を、数学的解析に立脚したアルゴリズム理論によって解決することを目的としている。このような基礎理論の研究は極めて重要であり、今後の情報科学・数理科学の発展の基盤となるもので、そこで得られる研究成果の学術的波及効果は大きい。応募者はこの分野において、若手研究者と共に国際的にも最先端の多くの研究成果を発表しており、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待できる。</p>